

## 令和3年度 上下水道事業運営審議会書面会議結果【水道関連】

委員	意見等	回答
A委員	<p>1 資料を読みますと本市の水道事業については、大口需要家において昨年4月に発生した事故による影響が今後数年にわたり、収益に直結していることが分かります。当該事業者が今後の水需要をどのように考えているのか、行政から民間事業者に対して情報を得ることは、なかなか難しいとは思いますが、理解をいただきながら収集してほしいと思います。このことについては、慎重に進めてほしいと思います。</p>	<p>大口需要家において発生した事故につきましては、本市水道事業の経営に多大な影響を与え、将来においても回復しきれない大幅な減収の要因となりました。大口需要家や埼玉県企業局とは、既に複数回にわたり、情報交換、調整等の場を設けております。徐々にはありませんが、段階を経て、大口需要家の今後の動向等も明らかになってきておりますので、審議会委員の皆様にも適宜報告等を行ってまいります。</p>
	<p>2 今年度、水道事業財政計画見直し業務を発注しています。年度末に納品になると思います。上記1で述べた収益、市全体の水需要、施設の更新、維持に要する費用、料金値上げなど慎重に検討した成果品となるようにしてほしいと思います。料金値上げも健全な経営を維持していく上で、必要時はやむを得ないです。</p>	<p>給水人口減少に伴う給水収益の減収、施設経年化の進行等による修繕費や更新費の増大など、以前からあったこれらの課題に大口需要家の事故の件も加わり、本市水道事業の今後の経営見込みは、これまでの予測とは大きく変わらざるを得ない状況となっています。財政計画の見直しに当たっては、市民生活に与える影響に最大限配慮するとともに、経費縮減等の方策も十分に講じた上で、健全な事業運営が持続できるよう慎重に検討してまいります。</p> <p>なお、公共施設等運営事業（コンセッション事業）等により、水道事業全般を民間事業者に委ねる方法は、現段階では考えておりません。</p>
	<p>3 今後、収益の伸びは期待できず、厳しい財政運営が予想されます。一方で成長期に整備した施設の更新や基幹管路の耐震化が求められています。基幹管路の耐震化率のアップも厳しいです。上記1、2とも関連しますが、職員皆様に費用対効果、優先度を慎重に検討した上で、水道事業の運営をお願いしたいと思います。一部自治体で民間事業者に水道事業を任せるような動きもあるようですが、本市においては現状のまがよいです。</p> <p>※ 回答は意見の2と3は水道事業全体で経営に関連があるので、意見を総合的に勘案した上で、まとめた回答で結構です。</p>	
	<p>4 昨年10月和歌山市で発生した水管橋落下事故、同月地震によって市原市で発生した水管橋漏水事故などは、同様に本市の水道管にしても発生が懸念されます。ライフラインの事故は、市民生活に真っ先に影響が発生します。令和3年度の漏水も規模は大小あるとは思いますが、3日に約1件発生しています。職員皆様も大変とは思いますが、施設の日常点検、迅速な漏水事故対応をお願いしたいと思います。</p>	<p>市民の皆さまに安全な水道水を安定的にお届けできるよう、施設周辺の状況について注視、点検することを日常的に実施しています。</p> <p>併せて、専門業者による漏水調査も毎年度行っております。この調査で漏水が発見されたときや、市民から漏水の通報があったときには、速やかに現場を確認し、早期に修繕を行っていますので、この取組を引き続き実施してまいります。</p> <p>なお、和歌山市の水管橋崩落事故などが発生したことを受けて、令和4年度の予算に水管橋の点検や補修設計等の委託料を計上いたしました。</p>

<p>B委員</p>	<p>人口減、そして大口水道供給先の供給停止、さらに新型コロナが追い打ちをかけるように、水道供給の減少＝水道料収入の減少が、今後も見込まれることが本報告から明確になった。水道は、電気・ガスとともに私たちの生活に欠かすことができない生活インフラだということを未曾有の大震災といわれる東日本大震災で、また、和歌山市で水管橋が落下した事故がいみじくも証明した。日高市も老朽化した水道管に対応が不可欠である。このように水道事業は大きな課題が山積しているといえる。経済が不透明な中で市民の生活に直結している水道料金の値上げも躊躇されるといというのが実情だ。これまでの資源を最大限に活用しながら、安全・安心、そして安定的な水供給を希望する。</p>	<p>水道は、市民の生活を支えるライフラインのため、安全な水を安定かつ持続的に供給する必要がありますが、近年の水道事業が抱える課題は多く、給水人口減少に伴う給水収益の減収、施設経年化の進行等による修繕費や更新費の増大などは全国的に共通する課題となっています。併せて、このたび発生した大口需要家の事故のように、その水道事業体特有の課題も多岐にわたって存在します。水道事業の運営を健全な状態で持続するためには、施設の更新工事や大規模災害発生に備えた耐震化工事等を停滞させることはできません。今後の財源確保方策の検討に当たっては、コロナ禍における市民生活への影響を考慮した上で、経費削減の努力はもとより、既存施設についても、できる限りの長寿命化を図るなど、現在ある資源を最大限に活用する方策も合わせて検討してまいります。</p>
	<p>世界的な新型コロナウイルスのまん延により、東南アジア諸国ではロックダウンの影響により、電子部品が調達できなくなったり、また、これらを輸送するコンテナが不足する事態になっている。電子部品が供給できず給湯器が大幅に供給不能になっている。このため、山梨県の別荘地では給湯器が盗まれる事例も発生している。上下水道の工事で資材への影響を心配しているが、市内の業者はどのような状況なのか危惧している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う市発注の水道工事に関する資材の影響につきましては、現時点では大きな影響は無いものと思われませんが、原材料や資材価格の高騰による製品価格の見直しについて資材メーカーより通知があることから、今後の状況を注視しております。なお、市発注工事の工期設定につきましては、資材供給に関する納期を考慮した上で、早期完了できるようにしてまいります。</p>
<p>C委員</p>	<p>下水道事業も水道事業と同様に厳しい状態が継続している。その一方で面白い話題もある。日高市制施行30周年を記念し、市内在住の著名な墨絵画家の又野龍也氏と漫画家の二ノ宮知子氏に描いた、市の花「ハギ」「曼珠沙華」や特産の「栗」と高麗郷をノスタルジックに表現したマンホールのふたを作製・設置したことだ。これらの取り組みは非常にユニークで、今後、もう一步進めてまちづくりにも活用してほしい。先日、水戸市に取材に行った帰り、観光協会に立ち寄った。日高市同様にマンホールカードを作成し、市民に対し積極的にアピールしていた。日高市でもマンホールカードを作成しており、人気も上々だと聞く。このような地道であるが、ユニークな取り組みを通して、市民に下水道の重要性や、その状況を同時のアピールしてもらい</p>	<p>市民の皆さまに安全な水道水を安定的にお届けし、安心して日々の生活を過ごしていただくには、増大する経費を賄う財源を確保するための方策を講じ、将来にわたって水道事業が持続できる実効性のある財政収支の見通しを立てる必要があります。財政収支計画を見直すに当たり、大幅な収入減に対処するため、まずは以前にも増して経費を削減した事業運営を行ってまいります。経常的な維持管理費はできる限り削減し、大規模な建設改良工事や修繕工事にあつては、その内容の精査や発注時期の見直し等の工夫を行います。それらの対策を踏まえた上で、更なる財源確保方策を検討していくこととなりますが、喫緊に水道料金の値上げということではなく、現段階ではまだそこには至っていない状況であり、具体的な時期等は言及できませんが、今後の検討結果を基に、審議会委員の皆様には適宜報告等を行ってまいります。</p>

D委員

・給水収益の減収と今後の展開について  
収益的収支において、大口の水道供給先への給水休止により、今後の水道料金収入の減収見込み額が良くわかりました。今後の展開については、経費削減に努力されていると思いますが、説明のとおり、施設の老朽化にともない修繕費・更新等費用が増大するため、収益的収入（主に給水収益）の確保が重要なこともわかりました。将来に向けて水道事業の運営が厳しい状況であることを市民に周知するとともに、将来に向け安定な浄水の提供を担保するためにも料金等を含めた水道事業財政計画の見直しが必要かと思えます。

市民の皆さまに安全な水道水を安定的にお届けするためには、施設の修繕工事や更新工事、大規模災害発生に備えるための耐震化工事等を停滞させないよう、増大する経費の財源確保方策を講じ、将来の負担増に対応できる実効性のある財政収支の見通しを立てる必要があります。財政収支計画の見直しに当たっては、給水人口の減少や、このたびの大口水道供給先の事故に伴う給水収益の減収を踏まえた水需要予測や収益状況の見通しを、よりの確に捉える必要があります。現時点では、できる限りの経費縮減や既存施設の長寿命化を図る対策も合わせて行うことで、コロナ禍において市民生活に与える影響が過大となりすぎないようにする配慮が必要と考えております。